

バーバ・ムクターナンダの光 スワミ・イーシュワラーナンダによる話

ナマステー。ようこそ。

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールにようこそ。皆さんはバーバ・ムクターナンダの 38 回目の太陰暦のマハーサマーディを祝うシッダ・ヨーガのサツァングに参加しています。

このサツァングは SYDA ファウンデーションにより制作されています。2020 年 10 月 31 日、このブルームーンの日、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのバガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンプルからライブ動画配信されています。

私は、自然が常に縁起の良い出来事、特にバーバ・ムクターナンダのマハーサマーディのような重要な出来事を祝うことに、気づいています。今週シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムでは、自然は「確かに」お祝いしていました。週のほとんどは、モンスーンのような激しく続く雨が降っていました。そして昨日、起きてみると柔らかく白い雪が毛布のように地面を覆っていました。この季節で初めての雪が降ったのです！

そして、昨日の日没になりました。その色はバデ・バーバのクジャクの衣の青色と高座を飾るバラのオレンジ色の色調でした。金色の光の流れが雲の間を通過すると、雲は目を見張るようなオレンジ色の色合いになりました。雲はハートや白鳥のようなさまざまな形になっては消えていきましたが、中でも一つ際立ったのは、光り輝く「M」の形でした。私はグルマーイが何年

もの間、バーバの誕生日の5月とバーバのマハーサマーディの10月には、雲に刻まれた「M」の文字を見ると言っていたのを思い出しました。

夕暮れの後、空がさらに暗くなると、輝くブルームーンが地平線から昇りました。それは、グレゴリオ暦で今月2回目の満月であるためにブルームーンと呼ばれます。でも、それは最も明るい白色に光っていました。月は昇ると、地平線に並ぶ雲の帯の間を見え隠れしました。それは時に、壮大な海の波のような雲の上を、航行するかのように見えました。

そして今朝は、日の出の直前に、輝く月が西の空に沈みました。地平線の下に沈む時には、それはサフラン色がかったオレンジ色でした。そして夜明けの光は、昨日の日没と同じオレンジ色と青色を映し出していました。その後すぐに太陽は地平線から出ると、地面を覆っていく金色のじゅうたんのようになり、ゆっくりと動きました。

ああ、本当になんと素晴らしいお祝いでしょう。

私の名前は、スワーミ・イーシュワラーナンダです。私はシッダ・ヨーガの僧侶で、シッダ・ヨーガの瞑想ティーチャーです。そして私はシッダ・ヨーガの道での45年間、SYDA ファウンデーションにおいて、とても多くのさまざまなセーヴァーをささげてきました。

さまざまな方法で、さまざまな形で、さまざまな部署で、そして世界中のさまざまな人々とセーヴァーをささげることによって、私はとても充実した人生を送っていると確かに感じています。

これらすべてに対し、私は心からバーバ・ムクターナンダに感謝します。

私は心からグルマーイ・チッドヴィラーサーナンダに感謝します。

私は心から神に感謝します。

私は自分の存在すべてで、私の身体に感謝します。

そして皆さんが素晴らしい自分でいてくださることに感謝します。そのことが、私が人生の目的を実現するのを助けています。

今日私たちは、人類の向上に貢献したバーバ・ムクターナンダの 74 年の生涯を敬い、祝います。そして私たちは彼のマハーサマーディ、つまり彼が最後に大いなる意識の光と溶け合った 38 回目の記念日を祝います。こうして祝う時、私たちはバーバが最も美しい確言を繰り返すよう教えてくれたことを思い出します。

私は光である。

私は光である。

私は光である。

英語で「光」という言葉は、目に見える光だけでなく、存在の明るさ、軽やかさ、必要がなければ物事をあまり深刻に受け取らないこと、このサムサーラの荒波の中でも軽快であることに集中し続けることを学ぶ、といったことも思い起こさせます。

私たちのマインドの暗がりに、隅々まで光を当てた、バーバ・ムクターナンダに敬意を表します。私たちの眠っているクンダリニー・シャクティを目覚めさせた、バーバ・ムクターナンダに敬意を表します。インドの教典の深遠な知識を、若いも若きも含めあらゆる年代の人々にとって生きた知識とした、バーバ・ムクターナンダに敬意を表します。バーバは、時代を超えた賢人の英知はすべての人のためにあることを、明らかにしました。

私が皆さんに送った手紙の中の、とりわけグルマリーがこのサツァングへ招待していることを伝えた部分を読んだ後、多くの人々が私に連絡をしてきました。このサツァングは 2020 年のシッダ・ヨーガ・シャクティパート・インテンシヴだと感じたと言うのです。

あなたの献身と専心に感謝したいと思います。そしてそれは、良い意図として持ち続けるようお伝えしたいと思います。なぜならグルマリーは、もともと今年のシャクティパート・インテンシヴに与えていた、「神聖な休息の領域に住む」というタイトルをこのサツァングのタイトルにするよう要請したからです。

ここで少し時間を取って、グルマリーは、あなたがこのタイトル、「神聖な休息の領域に住む」をどう受け取り、理解し、体験すると、思い描いたであろうかを、熟考しましょう。

グルマリーが、今年はバーバ・ムクターナンダのマハーサマーディの 38 周年記念であると私に話した時、38 という数字が私にとって何か意味があるかと尋ねました。

その時まで私はそのことについて考えてはいませんでしたが、グルマリーが 38 という数字が意味する可能性についてさらに話すと、私はもっと知りたいと夢中になりました。ですからここで、私が 38 という数字について発見したことを話したいと思います。

数字の3は、三界の神であるシヴァ神に関連付けられています。そして8は、繁栄、美、そして豊かさを私たちの人生にもたらす偉大な女神であるシュリー・ラクシュミーの、八つの姿に関連付けられます。つまり、38 という数字は、シヴァとシャクティの両方を含んでいるのです。

もちろん、調べたところ、私は 38 という数字についてもっと多くの興味深い事実や共時性を見つけました。あなたもこの魅力的な数字、38 について、ぜひ何かを発見し——そしてそれを楽しんでください！

38 年前、1982 年 10 月 2 日の満月の夜、バーバ・ムクターナンダは人間の肉体を離れ、すべてに浸透する大いなる意識と融合しました。

それから何年にもわたって、私は世界中の本当に多くの皆さんから、その祝福された夜の月の光は、注意を引き付ける強い力があつたと聞いてきました。それを見上げ、その前例のない美しさにくぎ付けにならざるを得なかったと。その月は空前の明るさと豪華さで輝いているように見えた——そしてバーバのダルジャンを受け取っているように感じたと話してくれました。

グルデーヴ・シッダ・ピートゥにおいてであれ、世界中のどの地においてであれ、10 月 2 日の夜にその体験をした人々は、いまだにそれを驚きの念と共に覚えていると、私は確信しています。その体験はあなたにとって、私と同じように、今もなお、極めて新鮮に違いありません。

10 月 2 日の夜に空を見上げるよう強く引き寄せられた、ニューヨーク在住のあるシッダ・ヨーギの話があります。「その満月の壮麗さに、私は見とれてしまいました」と、彼女は言いました。「それはこれまで見た中で、最も大きくて最も色鮮やかな月でした。空に低く懸かり、そのオレンジ色は、月というよりも日没の色により近い感じがしました。私は崩れるかのように地に膝を落とすと、プラナムをそれにささげたのです。プラナムのことは全く考えていませんでした。それはただ起こったのです…私の心は愛と喜びでほとんどはじけそうでした。翌朝早く、私は

電話を受け取り、バーバがマハーサマーディに入ったことを聞きました。私は即座に、前夜見た月はその重大な出来事のしるしだったのだと気づいたのです」

バーバ・ムクターナンダのようなシッダの師がマハーサマーディに入る時、母なる自然はその出来事を反映し——彼女独特のやり方で、そのような偉大な存在が世界を高揚してきたことをたたえます。

バーバ・ムクターナンダの人類への慈悲深い影響は計り知れません。

バーバ・ムクターナンダは、インド中を、そして3回の世界ツアーで世界中を旅し、人々に彼の教えを与え、瞑想の方法について指導しました。

バーバ・ムクターナンダは人々に、ダルマを果たす人生を生き、内側に彼ら自身の偉大さを認識する方法について教えました。

バーバ・ムクターナンダの教えである、「神は、あなたの中にあなたとして住んでいる」は、人々を驚かせ、彼らに生涯心に残る体験を与えました。

バーバ・ムクターナンダは、クンダリニー・シャクティは彼らの内側に住んでいるという知識を人々に与えた最高のグルでした。

そして、シャクティパート・ディークシャーの伝授を通して、バーバ・ムクターナンダは、あらゆる階層の、そして世界中の探究者のこの内なるエネルギーを覚醒させました。尽きることのない寛容さと、計り知れない慈悲深さで、彼はそれを切望する誰にでもこの伝授を与えました。

バーバ・ムクターナンダは、無類のシャクティパート・グルでした。

バーバ・ムクターナンダは、規律をもってシッダ・ヨーガの実践に従うことの重要性を教えました。同時に、その仕組みと規律の中に、常に自発性の余地があることも示しました。バーバは、規律という名の下に、あらゆる年齢の探究者たちが堅苦しく禁欲的にはならないことを保証しました。彼は、私たちが深遠な精神的生活を、遊び心、創造性、大きな喜びにも満たされて送ることができる手本を示しました。

これらや、また、数知れないさまざまな方法で、バーバはこの世界の精神性の様相を変容させました。何度も何度も、彼は私たち自身の内なる世界に——神聖な休息の領域に——私たちの目を開かせました。そして、本当にそこに住むことができることを私たちに保証しました。

「神聖な休息の領域に住む」。「神聖な休息の領域に住む」のです。

日本から米国、インド中、そして欧州全域まで、バーバの教えと恩恵は人々に届き、彼らを自分自身の心に戻し、彼らの人生に変容をもたらしました。

シッダ・ヨーガの道を45年間歩んで来て、私は、バーバのダルシャンと英知を受け取った数多くの立派で高潔な人を知るに至りました。どのようにバーバの存在や恩恵が人々の人生に触れたかといった話が、本当に数多くあります。

例えば、ある名門大学の、キャンパスで最も人気のある授業を持つ都市計画分野の教授がいました。全学生の中に、彼の授業では精神的な体験ができるとうわさが広がっていました。なぜ彼の学生たちがそれほど多くの神秘的な体験をするのかと尋ねられた時、教授は、本当に確かだとは言えないが、それはすべてバーバ・ムクターナンダという名前の聖人との2日間のシャクティパート・インテンシヴに参加して以来始まったのだ、と語りました。

バーバのシャクティと教えは、このように一人に触れ、そして、さざ波のように広がって多くの人の心に触れていったのです。

バーバが人々からよく受けた一つの質問は、グルの恩恵を受け取り、シッダ・ヨーガの道に従うためには、自分たちの宗教や、あるいは職業までも変える必要があるのかということでした。

バーバはいつも同じ答えをしました。「いいや」。彼らは自分たちの宗教を変える必要はありませんでした。精神的な生活を送るために、世俗の生活や義務から離れる必要はありませんでした。やはり彼らはバーバの恩恵を受け取りました。やはり彼らの光はバーバによってともされました。やはり彼らは、「神聖な休息の領域に住む」ためにやって来ることができたのです。

ひとたび内なる光がともされると、これらのバーバの献身者たちがどこへ行こうと、彼らが出会う人々はその光を感じ取りました。人々はその光の存在下で良い気分になりました。人々は、バーバの恩恵を受け取った者たちの存在下で良い気分になりました。

では少し時間を取って、シャクティパート・ディークシャーを通して、グルにより、あなたの内側にともされた光を想像してください。そして今度は、あなたが出会うすべての人々、さまざまな形であなたが触れるそれらの人々の人生のことを考えてください。あなたの内側にあるその貴重な光がどのようにして彼らと分かち合われているかについて考えます。それは外側へ向かって放射されています——この地球を覆う温かさと光輝です。

バーバに出会った要人の一人は、ブラフマー・プラカーシュ博士といって、インドの卓越した冶金(やきん)学者および原子物理学者の一人であり、原子エネルギー分野のパイオニアでした。輝かしい経歴の中で、プラカーシュ博士はインド政府の数々の原子エネルギーと宇宙科学計画を率いていました。

プラカーシュ博士はバーバ・ムクターナンダを非常に敬愛していたので、原子エネルギーがどのように作られるかを見せるために、バーバを彼の研究所へ招待しました。バーバは大変興味を持って、砕かれた岩や金属、その他の物質の山が、沸騰水のタンクの中で溶け、何度も何度も熱せられ——青い光線を放射する液体になるのを見ていました。

その過程が完結すると、バーバは敬意を込めてプラカーシュ博士に、「これらすべてのことを行う真意は何だろうか？」と尋ねました。プラカーシュ博士は身振り手振りで周りのものを示し、説明しました。「科学によると、バーバ、これらすべてのものはエネルギーであり——他の何ものでもないということです」

バーバは笑うと言いました。「バフトゥ・アチャー！ 大変よろしい。それはまさに私たちの教典が述べていることだ。私たちは、これらすべてのものはブラフマンであると言っている。これらすべてのものは大いなる意識である」

そして、これこそまさにバーバが教えていたことです。

しばしばバーバは、もしあなたが瞑想で内側に向かうなら、あなたは自分でこの大いなる意識を体験するだろう、そして大いなる意識の本質は純粋な愛、純粋な至福であることを発見するだろうと言いました。

私たちは、バーバの生涯、彼の教え、恩恵、慈悲、喜び、ユーモア、人類への愛、そして彼がこの世界に与えたすべてのものを祝うために、このサツァングに参加しています。

バーバ・ムクターナンダと彼の瞑想革命のおかげで、私たちは、神聖な休息の領域は私たちの内側にあり、いついかなる時でもアクセスできることを知っているのです。

バーバ、このあなたのマハーサマーディ 38 周年に、私たちは、私たち自身の内なる光を目覚めさせてくれたあなたの光を思い出します。

そして、あなたの言葉、「私は光である」を、記憶にとどめます。

ありがとうございます、バーバ。

